

崎を訪れ世界平和の祈りを捧げることを望みたい。

しかしここから何が始まるかは定かではない。核戦争の地獄の恐怖や脅威は被爆者でないにと到底わからない。その恐怖と脅威そのものが永遠に消滅されることが約束されるその日まで人類は訴えていかなければならない。

広島と長崎の歴史的惨劇の事実は人類が直面しなければならぬ永遠の宿命である。それは道義的な根本問題からだけではなく人類の未来的存亡にかかわる命題であるからである。実際、核兵器軍縮の問題と核抑止力維持の問題は両刃の剣であり矛盾した過酷な現実はおバマ大統領のかざす理想主義からあまりにもほど遠い。広島と長崎の悲劇が人類に対する学習すべき警告であることは間違いない。

戦争や無意味な殺戮の歴史は繰り返されてはならない。しかし愚かな人間はそれを繰り返す。またそれを正当化しようとする。目的の為に手段を選ばずと言う利己的正論をかざして無差別の殺戮を繰り返す。約一万年の人類史の中で戦争や紛争が消えた事はない。平和と秩序や自由を勝ち取る為の戦争も幾度となく繰り返されてきた。社会的矛盾論の観点から人類の生存闘争の歴史の中でこれからも戦争が消えることはまずないと言える。しかし純粋な性善説の観点から人間の良心を信じ我々は希望を捨ててはならない。主体性と選択は常に人間にあることを我々は忘れてはならない。オバマ大統領の理想とする核兵器なき世界はいかなる戦争もない世界へと高揚される日がこの地球上に来る事を祈りたい。

